

第10回江東区都市計画マスタープラン2022推進会議【会議録】

開催日時	令和6年8月27日(火) 午前10時30分		
開催場所	江東区文化センター4階第2会議室		
出席者 (敬称略・順不同)	【委員】 <委員長> 志村 秀明 <委員> 市古 太郎、江守 央、森本 章倫、柳井 重人 【区職員】 地下鉄8号線事業推進室長、都市計画課長、まちづくり推進課長、沿線まちづくり担当課長		
【議題】		【所管】	
江東区都市計画マスタープラン2022の成果管理について		都市計画課	
【議事概要】			
No	該当資料	委員の意見要旨	区の回答要旨
1	資料3	目標値の設定はどのような考えで行われているのか。具体的な計算式などがあるのか。	目標値の設定については、各長期計画の区民アンケートの中で、事前にアンケートを徴収したうえで、各施策の所管ごとに、目標値を設定している。これまでの江東区の状況を踏まえ、目標値を設定している。
2	資料3	目標値と予算の検討との関係をお聞かせ願いたい。	予算に関わる項目としては、3ページの事業活動量が該当する。そのため、各所管課においては、目標値等も見据えて予算化しているところである。
3	資料3	今年度の満足度はほとんどが昨年度の満足度を下回ってしまい、楽観的に見られない状況である。下がっている項目に対して一歩踏み込んだ分析ができると良いと感じた。	区民アンケートの各質問のうち、子育て、子供関係、地域コミュニティ、高齢者や障害者等のソフト面は満足度が向上している傾向があるようである。一方でハード面では上がっていない項目が目立つため、今後もしっかりと取り組んでいきたい。
4	資料3	まちづくり方針を策定している地区とそうでない地区で集計を作ると、何か傾向が見えてくるかもしれない。手間であれば検討の価値があるかもしれない。	/

5	資料 3	<p>区民アンケートの結果と事業活動量を全体的に見て、考察していただければと思う。事業活動量が上がっている中で区民満足度が上がらなくなると、区民に知られていないことも考えられ、区民との対話などの必要性も考えられる。まちづくり方針や地区計画を進めることで、クロス集計も上向きになると期待したい。</p>	
6	資料 3	<p>成果管理において、もう少し複数年で検討することで、コロナによる相関関係等も見えるかもしれない。</p>	
7	資料 3	<p>満足度調査について、統計的に有意な差があると言えるか。満足度向上には事業内容の周知・プロモーションが必要かもしれない。</p>	

江東区都市計画マスタープラン2022 の成果管理について

令和 4 年 3 月に策定した「江東区都市計画マスタープラン2022」では、重要なまちづくり政策として重点戦略を掲げるとともに、プランの着実な推進に向けて成果管理を行うこととしており、令和 5 年度の実績は以下のとおりである。

1 重点戦略の進捗

重点戦略 1 : 「地下鉄 8 号線延伸のまちづくり」

○「江東区地下鉄 8 号線沿線まちづくり構想」策定(令和 5 年 3 月)

重点戦略 2 : 「未来の臨海部のまちづくり」

○「江東区臨海部都市交通ビジョン」策定(令和 6 年 3 月)

重点戦略 3 : 「浸水対応型のまちづくり」

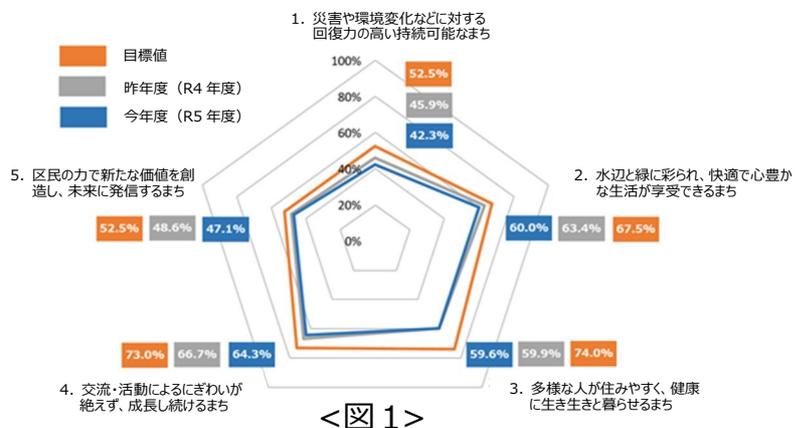
○「江東区浸水対応型まちづくりビジョン」策定(令和 6 年 3 月)

2 成果管理

以下①から③について指標を設定し、まちづくりの進捗度合いを定量的・定性的にモニタリングする。

① 総合的なまちづくり

<表 1><図 1>で示すとおり、1～5 すべての項目において、前年度の満足度を下回る結果となった。特に、1 は減少幅が最も大きく、能登半島地震に伴う安全への意識の高まりが影響していると考えられる。引き続き民間建築物の耐震化や重点戦略である浸水対応型まちづくり等の推進が重要である。



【満足度(アウトカム指標)】

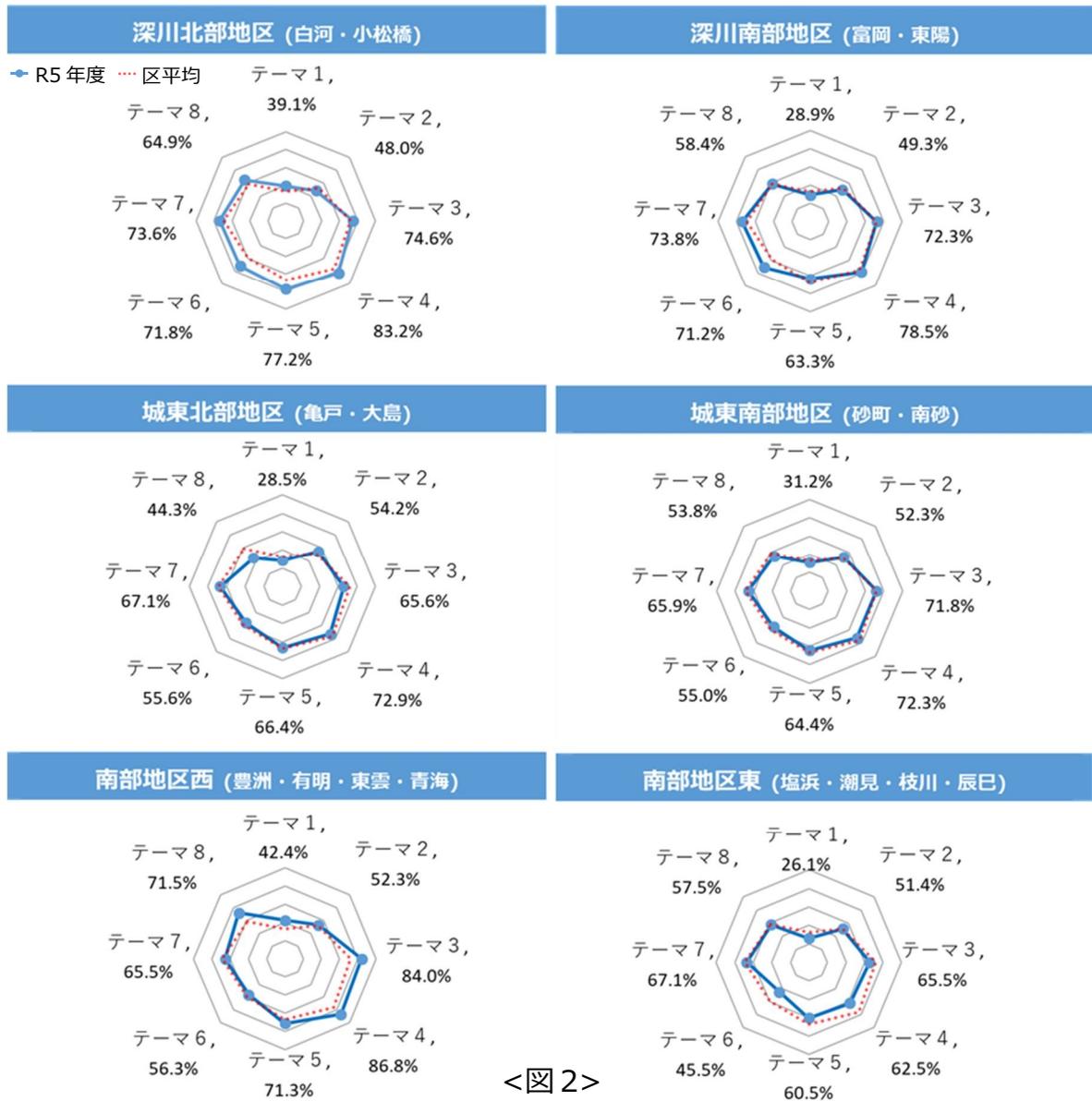
<表 1>

目指すべき江東区のまちの姿	満足度※		
	R4 年度	R5 年度	目標値
1 災害や環境変化などに対する回復力の高い持続可能なまち	45.9%	42.3%	52.5%
2 水辺と緑に彩られ、快適で心豊かな生活が享受できるまち	63.4%	60.0%	67.5%
3 多様な人が住みやすく、健康に生き生きと暮らせるまち	59.9%	59.6%	74.0%
4 交流・活動によるにぎわいが絶えず、成長し続けるまち	66.7%	64.3%	73.0%
5 区民の力で新たな価値を創造し、未来に発信するまち	48.6%	47.1%	52.5%

※江東区長期計画区民アンケート調査を基に算出。目標値の年次は令和 13 年度。

② テーマ別まちづくり

<表 2><図 2>で示すとおり、4、8 以外の項目において、前年度の満足度を下回る結果となった。特に 1 の満足度については、「総合的なまちづくり」と同様の傾向が見られ、安全・安心への関心の高まりが伺える。



<図 2>

テーマ別の部門	満足度※ (区平均)	
	R4 年度	R5 年度
1 緊急時にも適時的確に対応する回復力の高い都市 (安全・安心部門)	36.1%	32.7%
2 地球温暖化対策に対応する脱炭素都市 (環境部門)	52.8%	51.3%
3 水辺と緑に彩られ交流と活力を生み出す快適な都市 (水辺と緑部門)	75.0%	72.3%
4 多様な暮らしを育む定住都市 (住環境部門)	75.9%	76.0%
5 誰でも生き生きと暮らせる健康都市 (健康・スポーツ部門)	70.8%	67.2%
6 快適に移動できるネットワーク都市 (道路・交通部門)	62.0%	59.2%
7 自然や文化、地域資源が織りなす観光・交流都市 (観光・交流部門)	71.3%	68.8%
8 みんなでつくる美しいまち並みを次世代に継承する都市 (景観部門)	57.8%	58.4%

<表 2> ※江東区長期計画区民アンケート調査を基に算出

8部門の各代表指標（17項目）〈表3〉は、令和4年度から5年度にかけて、13項目が目標値に向けて数値は向上しており、2項目は横ばいであるが概ね計画どおりとなっている。

【事業活動量（アウトプット指標）】 〈表3〉

テーマ別の部門	代表指標	R4年度	R5年度	目標値※
		1 安全・安心	・耐震化されていない特定緊急輸送道路沿道建築物の棟数 ・区立施設における雨水利用の導入施設数 ・災害協力隊の数	70棟 57施設 329隊
2 環境	・区内の年間二酸化炭素排出量 ・再生可能エネルギー設備を導入した区施設数（太陽光） ・地球温暖化防止設備導入助成申請件数	2,626千t-CO2 18施設 558件	2,718千t-CO2 19施設 961件	2,543千t-CO2 19施設 257件
3 水辺と緑	・水辺・潮風の散歩道整備率 ・緑被率	59.77% 21.01%	61.17% -	63% 22%
4 住環境	・区営住宅の整備・改修の団地数 ・マンション計画修繕調査支援事業の助成件数	1/9 箇所 34件	3/9 箇所 40件	9/9 箇所 35件
5 健康・スポーツ	・区立スポーツ施設の利用者数 ・公園面積	1,495千人 508.1ha	1,767千人 510.2ha	2,550千人 540ha
6 道路・交通	・都市計画道路優先整備路線事業着手数（区道） ・細街路拡幅整備延長	0/1 路線 21,399m	0/1 路線 22,179m	1/1 路線 23,399m
7 観光・交流	・観光ガイドの案内者数 ・「江東ブランド」認定企業数	2,046人 52社	2,088人 57社	5,800人 58社
8 景観	・水辺・潮風の散歩道整備率（再掲） ・無電柱化延長（区道）	59.77% 23,166m	61.17% 24,023m	63% 27,146m

※目標値の年次は指標ごとに異なる（令和6～11年度）

③ まちづくり方針等の策定

将来都市構造における22の拠点等について、まちづくり方針等の策定を目指すこととしており、社会情勢の動向を踏まえ、大規模な土地利用転換等を契機としたまちづくりを引続き検討するとともに、地域住民の意識啓発や勉強会等の取り組みを支援するなど、まちづくりの機運を醸成していく。

【まちづくり方針の策定状況】 〈表4〉

まちづくり方針 一覧		策定数
策定済み	潮見地区まちづくり方針（H20） 北砂三・四・五丁目地区まちづくり方針（H30） 西大島地域まちづくり方針（H30） 亀戸六丁目まちづくり方針（H30） 新砂二・三丁目地区まちづくり方針（R2）	5
今後予定	（仮称）枝川駅周辺地区まちづくり方針（R6） （仮称）千石駅周辺地区まちづくり方針（R7） （仮称）大島三丁目駅前地区エリアまちづくり方針（R7）	3